気高地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ

2026

News letter VOL.02

とっとりん

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。
その取り組みとして、「気高地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催し、「このまちでどんなくらしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、全２回のワークショップを通じて地域のみなさんと一緒に考えました。

第２回
くらしと施設のすがたをみんなで描く

日　時：１１／７（土）
　　１４:００～１６:３０
会　場：気高保健ｾﾝﾀｰ
　　（ゆうゆう健康館けたか）
参加者：１３名（４グループで編成）

Topic 1　前回の内容を振り返り たたき台の改善アイデアを整理

ワーク１では、前回話し合った内容を振り返りながら、たたき台の改善アイデアについて話し合いました。「どうすれば人が集まる場になるのか」「他の施設との役割分担をどうするのか」などを検討し、各グループで改善アイデアをまとめました。

(※)たたき台…市が結論を決めたものではなく、参加者の皆さんと一緒に考え、意見を出し合うための出発点となる資料



Topic２　グループの提案をまとめる

ワーク２では、ワーク１で出された改善アイデアについて、どのような効果が期待できるか、実現するためには何が必要か、地域住民や団体にできることは何かを話し合い、模造紙にグループの提案をまとめました。



Topic３　提案内容の共有＆記念撮影

ワークショップの最後には、全２回の成果をまとめて他グループへ共有する全体発表を行いました。発表の中では、グループごとにアイデアが深掘りされた内容や、公共施設の新たな使い方・あり方などがたくさん共有されました。同じエリアを対象にしていても、グループによって考え方は様々で、たくさんの人が関わる「まちづくり」の様子を感じるワークショップとなりました。

このワークショップは公共施設を、そして地域を考えるきっかけにすぎません。今後、行政と地域が協働し、より良い気高町にしていく活動へと繋げていきたいと思います。





発行：鳥取市役所総務部　資産活用推進課 施設経営係